



# 認知症家族教室



4月15日に第40回認知症家族教室を開催しました。

今回は病棟看護師から「認知症の方への接し方、関わり方について」、認知症治療病棟担当相談員から「認知症の方が利用できる制度やサービスについて」の講義を行い、9名の家族が参加されました。

看護師からは、認知症の方が、今どんな世界におられ、どんな気持ちで過ごされているかをご家族に考えていただけるよう、認知症の症状について説明し、具体例として、「物を盗られたという」「入浴を嫌がる」「食べ過ぎる」などの症状が出現したときの適切な対応方法についてお伝えしました。

相談員からは認知症介護のポイントとして、認知症について正しく理解し、認知症の方の気持ちを考えて対応すること、サービスや制度をうまく利用すること、頑張りすぎないことの3つをあげ、どのサービスの利用を検討すればよいか、そのサービスの特徴を具体的に説明しながらお伝えしました。

講義後には個別相談の時間を設け、医師、看護師、作業療法士、心理士、相談員がそれぞれの家族の質問や悩みに耳を傾けアドバイスをさせて頂きました。

参加家族からは「良くない例のやりかたで対応してしまっていた。教わったように一度やってみたい」「環境の変化による不穏でサービスの利用を諦めていたが、小規模多機能型施設の利用を退院後考えたい」「個別相談で具体的に退院までの流れを聞いて安心した」などの感想が聞かれました。

今後もスタッフ一同、より家族が参加しやすい会にしていけるよう努めていきます。